

質疑・質問

押田 憲一 議員



(二括質問方式)

- ① 治水対策
- ② 肱川橋架け替え事業及び肱南地区の文化施設
- ③ 竹林再生・利用促進緊急支援事業
- ④ 市内高校の卒業生の就職状況

治水対策について

問 久米川河川改修について工事の目的、効果、完成時期など、どのようなスケジュールとなるのか。

ど、どのようなスケジュールとなるのか。

答 久米川においては、国が暫定堤防のかさ上げを実施するに当たり影響のある区間、約1.6キロメートルの堤防整備を実施するもので、これにより平成17年9月の台風14号洪水規模の流量を安全に流下させることができると考えています。

今後、平成39年度を目途に河川整備計画高へのかさ上げを実施し、さらに平成45年度を目途に上流自己流区間の整備を実施して河

堤防整備が進められている久米川



川整備計画を完成させる予定と伺っていますが、市としても県に対し早期完成を強く要望していきたいと考えています。

肱川橋架け替え事業及び肱南地区の文化施設について

問 肱川橋架け替え事業及び国道56号大洲交差点改良事業について、肱川橋は大洲市の中核を担ってきた橋でもあるため、これを契機に環境、景観、周辺整備などに配慮したまちづくりを考慮に入れた計画となっている。地域の活性化など工事完成後周辺の土地利用はどのような計画になるのか。

答 肱川橋周辺のまちづくりに関しては、肱南・肱北地区都市再生整備計画に基づき進めているところです。本年度は、肱南地区では柚木の松井家住宅整備の基本構想策定と、臥龍山荘横の渡辺勘兵衛邸跡の広場整備を、また肱北地区では、常磐町、殿町商店街へ観光情報板の整備を進めています。また、住民と連携したまちづくりを進めるため肱南、肱北地区の住民を対象にワークショップを開催し、団体やリーダーの育成にも努めているところです。

竹林再生・利用促進緊急支援事業について

問 餃子の王将の会長が愛媛県出身でもあり、メンマを外国産から日本産、愛媛産に移行すると聞いているが、市の対応についてお伺いする。

答 当市においては、乾タケノコの生産拡大は新たな産業の創出につながるビジネスチャンスと捉え、事業展開を支援していきたくと考えており、県の乾タケノコ生産基盤整備事業のうち、資機材の整備等に対する補助金を今議会に計上しています。また、竹林整備及び作業道の開設費用の支援を行うほか、獣害対策の助成も行うこととしています。

一方、乾タケノコの生産体制づくりについては、大洲市森林組合及びJA愛媛たいきと連携し、関係者を対象に乾タケノコ生産に係る説明会を開催し、事業への参加を呼びかけているところです。また、乾タケノコの作り方や生産工程などの説明会や研修会を地域ごとに開催していきたいと考えています。